

志賀原子力発電所における燃料集合体ウォータ・ロッド に関する調査結果の報告（中間報告）について

平成25年1月7日
北陸電力株式会社

当社は、本日（1月7日）、原子力規制委員会からの指示文書¹に基づき、志賀原子力発電所のチャンネルボックス²の脱着履歴等のある燃料集合体について点検し、現時点における調査結果を同委員会に中間報告しましたので、お知らせします。

東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所第5号機の燃料集合体ウォータ・ロッド³に曲がりが確認されたことを受け、志賀原子力発電所についても、燃料集合体に係る事実確認、チャンネルボックスの脱着履歴等のある燃料集合体の点検を行い、1月7日までに報告するよう等、原子力規制委員会から指示を昨年11月28日に受けました。

（平成24年11月29日お知らせ済）

使用済燃料プール内の使用済燃料について、チャンネルボックスの脱着履歴等のある燃料集合体の内、1号機は22体、2号機は3体を点検対象として抽出しました。

現時点で、1号機は11体、2号機は3体の点検が終了し、点検した燃料集合体に異常はありませんでした。

今回は、現時点における調査結果を中間報告するもので、使用済燃料プール内の残りの燃料集合体の点検結果については、点検終了後に別途報告します。

また、原子炉内の燃料集合体等については、原子炉起動前の適切な時期に点検を実施し、同委員会に報告します。

以上

添付資料：燃料集合体ウォータ・ロッドの点検について

1 指示文書

「東京電力株式会社柏崎刈羽原子力発電所第5号機の燃料集合体ウォータ・ロッドの曲がりについて（指示）」（原管B発第121127001号）

2 チャンネルボックス

燃料集合体に取り付けられ、燃料集合体に流れる冷却材の流路を確保するための四角い筒。

3 ウォータ・ロッド

燃料中央部に燃料棒と並行して設けられている中空の管で、内部に水を通すことにより燃料集合体の出力分布の平坦化等を図るもの。

燃料集合体ウォータ・ロッドの点検について

1. 水中でのC B脱着履歴等のある燃料集合体の数

志賀原子力発電所 1号機、2号機に存在する再使用チャンネルボックス（C B）を装着した燃料集合体および水中でC Bの脱着履歴のある燃料集合体の数及び所在場所は、下表のとおり。

		1号機	2号機
使用済燃料プール内	再使用C Bを装着	141 体	0 体
	水中でC B脱着履歴あり	103 体 ¹	11 体 ²
原子炉内	再使用C Bを装着	0 体	0 体
	水中でC B脱着履歴あり	7 体	18 体
合 計		222 体	29 体

1：再使用C Bを装着した燃料集合体で、その後、水中でC B脱着履歴がある29体を含む。

2：再装荷予定燃料集合体（3体）含む。

2. サンプル点検

(1) 点検対象

使用済燃料プール内に存在する水中でのC B脱着履歴等のある使用済燃料集合体について、各号機毎に点検数を検討し、1号機は22体、2号機は3体を対象とした。

(2) 点検方法

点検対象の燃料集合体について、チャンネル着脱機にてC Bを取り外して、水中カメラにて外観点検を実施した。

(3) 点検結果

現時点で、C Bの脱着履歴等のある燃料集合体にウォータ・ロッドの曲がりを含む異常は確認されなかった。

1号機：11体（22体中）点検完了

2号機：3体全て点検完了

3. 今後の対応

- ・1号機の残り11体の点検を進め、点検終了後に点検結果を報告する。
- ・原子炉内および再装荷予定の燃料集合体のうち、水中でC B脱着履歴のある燃料集合体については、原子炉起動前の適切な時期に点検を実施し、点検結果を報告する。

以 上